

ワンクリック詐欺誘引メール！

ワンクリック詐欺の手口と、その対策！



送られてきたメールに記載されている URL やリンクボタンをクリックするだけで、「登録ありがとうございました。登録料を支払って下さい」などと表示され、高額な料金を請求される「ワンクリック詐欺」の被害が急増しています。

興味をそそる内容で誘う

[件名]すてきな出会い
[本文]

♡ ラブラブクラブ ♡
あなただけにすてきな
出会いのお知らせ。
安心の出会い系サイト。
今すぐクリック。

<http://wtap.jp/~kl/fto/girls.html>

「はい」「いいえ」のどちらをクリックしても同じ登録完了画面に！

♡ ラブラブクラブ ♡

安心の出会い系サイト
18 歳以上で規約に同意した方は入場して下さい。

はい

いいえ

利用規約

「はい」「いいえ」どちらをクリックしても

ご入会ありがとうございます。

あなたの **個人識別番号**

5432isd-ymg-kenshu-s34
を登録させていただき、入会手続きが完了しました。

[利用期間]30 日間

[利用料金]25,000 円

[振込先]〇×銀行〇×支店
3 日以内に振り込んで下さい。期限までにお支払いがない場合には、ご自宅まで回収に伺います。



いきなり高額請求！
支払うしかないのかな？

ポイント

1 最近のワンクリック詐欺

上記の事例は「出会い系サイト」のもので、「アダルトサイト」関連の事例も報告されています。まったく身に覚えのない架空請求メールと異なり、ワンクリック詐欺誘引メールに書いてある URL にアクセスしたことにより、送られてきた請求メールを無視することができず、被害に遭う人がいます。※最近では芸能情報を扱うサイトからワンクリック詐欺サイトへの誘導が急増しています。

2 ワンクリック詐欺対策

知らない人からの電子メールに記載されたリンクをクリックしないようにする。

知らない人からの電子メールは要注意！特に、アダルトサイト等にリンクされていると思われる URL やリンクボタンは、絶対にクリックしてはいけません。トラブルに巻き込まれる事例が多数報告されています。

3 もしもトラブルに遭ってしまったら（料金請求を受けた場合）

① 契約に同意して利用した場合以外は無視する。

これらの手口によって契約が有効に成立しているとは考えられません。利用規約がない場合は当然無効です。料金の請求を受けても安易に支払わないこと。一度お金を払うと、「いいカモになる」と次々と似たようなメールが送られてくることにもなりかねません。

② 個人識別番号から個人情報伝わらない。

自動登録画面が表示されると、**個人識別番号**が表示されることがあります。自分の個人情報が相手に伝わったのではと不安になりますが、このことから個人情報が漏れることはありません。慌ててほかのボタンをクリックしないように注意し、トラブルに備えて画面やサイト名、URL を記録保存しておきましょう。*どうしても不安な場合は、警察署か消費生活センターへ相談しましょう。

③ 相手に、氏名、住所、電話番号等の個人情報は絶対に伝えない。

登録の取消しや支払い理由を確認するために業者に連絡を取ることは、相手に自分の個人情報を知らせることにつながります。決して連絡をしないようにしましょう。

ワンクリック詐欺誘引メール

<用語解説>

● 個体識別番号（固有識別番号）

個体識別番号とは、携帯電話から個人を識別できたように見せかけるために画面に表示される番号です。ワンクリック詐欺で利用される番号です。しかし、これらの番号からは個人情報（氏名や住所、電話番号）を入手することはできません。

<不当請求の有効性>

一般的には、契約する前に利用規約について明確な説明がなかったり、事実と異なる説明により契約させ、料金が請求されたりしても、契約自体が無効になります。

また、電子消費者契約法（電子消費者契約及び電子承諾通知に関する民法の特例に関する法律）では、「事業者は消費者に対して申し込み内容を再度確認させるための画面を用意する必要がある」ので、この様な確認の措置がない場合には、その契約の無効を主張することができます。

なお、誤ってクリックしてしまった場合でも、上記の法律により料金請求は無効になるため、慌てずに行動して下さい。自分の行った操作に不安がある場合は、総務省電気通信消費者相談センター、消費生活センター、警察署に相談しましょう。

<事例1>（国民生活センター ホームページより）

携帯電話でネットサーフィンをしていたところ、アダルトサイトを見つけ、当該サイトのトップページに記載されていた女性の名前をクリックした。すると「ご入会ありがとうございます。あなたの個体識別番号を登録しました。ご利用料金は15,000円です」と表示された。驚いてトップページに戻り、よく見ると「18歳以上で利用規約に同意し、入会する方はお進み下さい」と書いてあった。利用規約を確認しなかったのは不注意だったが、だまされたようで納得できない。（30歳代、男性）

<事例2>（国民生活センター ホームページより）

携帯電話でネットサーフィンをしていたら、アダルトサイトに入ってしまった。写真をクリックしたら「自動登録されました」という表示と、個体識別番号が出てきた。利用規約を探したところ、ページの一番下にあり、「お客様の利便性を優先した自動入会・後払いシステムである」、「クリックした時点で自動入会になる」、「18,000円を入会日から4日以内に振り込むこと」などが書いてあった。重要な利用規約がページの一番下にあり、支払いに対する確認もないため、請求に応じたくないが、「個体識別番号から調査する」とも書いてあった。どうしたらよいか。（20歳代、女性）

<オンライン詐欺種類別被害経験>

2006年9月27日にブロードバンド推進協議会（BBA）から発表になった「インターネット利用者を対象にしたオンライン詐欺に関する調査結果」によると、15～19歳の未成年者だけに限ってみれば、オンライン被害のうち、約6割がワンクリック詐欺です。そのうち、誰にも連絡・相談はしなかったものは59.5%と半数以上が相談できていません。

<関係機関の情報>

- 全国の消費生活センター
パソコンから <http://www.kokusen.go.jp/map/index.html>
携帯電話から <http://www.kokusen.go.jp/i/soudan/index.html>
- 総務省電気通信消費者相談センター Tel: 03-5253-5900

